

実 務 経 験 調 書
【幼児教育職②、心理職（いずれも資格要件②に該当する方）】

(新しい実務順に記入してください)

事業所	配属部署等	経験期間	経験年数	実務・経験内容※具体的に記入
所在地 名 称		年 月 ～ 年 月	年 月	正規・非正規
所在地 名 称		年 月 ～ 年 月	年 月	正規・非正規
所在地 名 称		年 月 ～ 年 月	年 月	正規・非正規
所在地 名 称		年 月 ～ 年 月	年 月	正規・非正規
所在地 名 称		年 月 ～ 年 月	年 月	正規・非正規
所在地 名 称		年 月 ～ 年 月	年 月	正規・非正規
			経験年数 合 計	年 月

上記記載内容のとおり経験していたことを報告します。

年 月 日

住所 _____

氏名 _____

記 入 要 領

1 次の受験資格を満たす人が試験の受験対象です。

区分	受験資格	
	年齢要件	資格等要件
幼児教育職②	昭和 60 年 4 月 2 日以降に生まれた人	幼稚園免許および保育士資格取得後、幼稚園、認定こども園、児童福祉施設（※1）において保育等の経験が5年以上ある人（令和6年4月1日時点）（※2）
心理職	平成元年 4 月 2 日以降に生まれた人	大学（短期大学を除く）において心理学に関する学科を修め卒業し、心理臨床経験が2年以上ある人（令和7年3月31日時点での見込を含む）

※1 児童福祉施設とは、助産施設、乳児院、母子生活支援施設等の児童福祉法に定める施設をいう。

※2 職務経験には、常勤勤務者、短時間労働者（週 30 時間以上勤務）として1年以上継続して就業した期間が該当。1年以上の職務経験が複数ある場合には、通算することができる。ただし、同一期間に複数の先で就業している場合、重複期間についてはいずれか一つの就業先での就業期間のみを経験年数に加算するものとする。

- 2 その他・・・・・・
- (1) 育児休業期間や休職期間は、経験年数に含みません。
 - (2) 勤務の始終期日が月の途中であっても1月とみなして計算します。
 - (3) 算出した経験年数は12月をもって1年とみなします。
 - (4) 職務内容は具体的にご記入ください。

3 就労証明・・・・・・最終試験合格後、就労証明（守山市指定様式）を提出していただきます。

記載例

事業所等名称	配属部署	配属期間	経験年数	職務内容
例1) 幼児教育職 所在地 ○○市吉身○丁目▲一□ 名称 ○○園	●●園	H31年4月 ～R6年3月	5年	正規 ・非正規 ▲歳児のクラス担任として幼児保育を行う
例2) 心理職 所在地 ○○市▲○2丁目▲一□ 名称 ○○病院	○○科	R4年4月 ～R6年3月	2年	正規 ・非正規 精神疾患を抱える患者のメンタルケアを行う